



2018年6月

園庭で楽しく遊ぶ子どもたち

「遊び」を通じた保育の質向上を目指して

プロジェクトナチームメンバー



右から、長谷川大（JICA専門家）、梶山葉子（JICA専門家）、エルアルフィ.ソマヤ（社会連帯省社会福祉局長）、神谷哲郎（JICA専門家）、マシュフル.サハル（社会連帯省大臣アドバイザー）

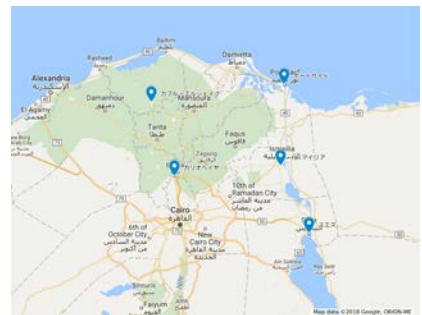
プロジェクトの背景

エジプトには、これまで約20年間にわたり70名以上の青年海外協力隊員（JICAボランティア）が保育・幼児教育分野に派遣されてきました。エジプトで活動を行うボランティアは、保育・幼児教育現場における「遊び」の重要性やより良い遊びの実践方法を、ワークショップやセミナーを通じて現場の先生方に伝えてきました。本プロジェクトは、後述するEJEP（エジプト・日本教育パートナーシップ）のもと、これまでにJICAボランティアが積み重ねてきた実績、及びエジプトの人々との相互信頼の上に展開されています。

プロジェクトについて

2016年、エルシーシ大統領（エジプト）の日本公式訪問の機会に、安倍晋三総理及びエルシーシ大統領は、教育に関する共同パートナーシップ「エジプト・日本教育パートナーシップ」（EJEP）を発表しました。本プロジェクトはEJEPのもと、エジプト社会連帯省と協働し、保育園における保育の質向上を目指し活動を実践しています。具体的には、①保育者を対象とした研修事業の実施、②保育・幼児教育教材の作成、③保育園の保護者を主な対象とした啓発イベント等を実施しています。対象地域は、ポートサイド、

イスマイリア、スエズ、カリオベイヤ、カフル・エルシイクの5つの地域で、プロジェクトの対象となる保育園は各地域10園ずつあります。



プロジェクトの対象地域

神谷哲郎・チーフアドバイザーより

プロジェクトの対象となるモデル園では、先生が子どもたちの前に立ち、文字や数字、言葉を単に教える姿は少しずつ見られなくなり、代わりに子どもたちが先生と楽しく遊びながら、色々なことを経験している様子が見られるようになりました。保育の現場では、子どもたちひとり一人の興味・関心を大事にし、様々な経験を通じて子どもたちの健やかな発達を支援していくことが大切です。「就学前の教育と保育の質向上」プロジェクトの主題となる「遊びを通じた学び」はそうした考えが基となっています。5地域にある50の保育園の保育者や保護者と「遊びを通じた学び」の大切さを、今後も共有していきたいと思ひます。



右から、ヘバ.アムメル（社会連帯省家族子供部部長）、ハナン.アハマッド（社会連帯省家族子供部職員）、アッザ.サード（社会連帯省家族子供部職員）

所在地: カフル・エルシェイク

設立年: 1988年

クラス数: 3 室

子どもの数: 約50名

保育園の行事:
誕生日、預言者誕生祭 等

ごっこコーナーで料理をつかって遊んでいる子どもたち、「見て見て、こんな料理できたよ！」

モデル園の紹介とコーナー保育

レアイアト・エルタレブ保育園の一日

モデル園の一つのレアイアト・エルタレブ保育園のある日の一日の流れを紹介します。

8～9時 順次登園。家庭から持参した朝食を園で食べる子どもも多くいます。

9～10時 体操や運動の時間。楽しみながら身体を動かします。



先生と楽しくダンス

10～11時 コーランの時間。最初に保育者はアルファテハというコーランの韻文を読んで、子どもたちがそれを繰り返します。そうすると、神様の好意を感じることができ、また、神様に感謝する大切さを感じることができます。

11～12時 教育に関する時間。例えば、子どもたちに鼻や口などの顔の部位を教えます。その中で、それぞれの部位の役割を伝えていきます。

12時半～13時 食事を終えた後は、絵本を読む時間。子どもたちは保育者の読み聞かせを楽しむ中で、本を読むことが好きになります。

13～14時 コーナー保育の時間。

園の先生が紹介したいポイント！

レアイアト・エルタレブ保育園の先生方は、約30年、同じ保育園で働いており、保育園のある地域の方々ともとても良好な関係を築いています。そのため、周りに新しい保育園が開園する場合は、レアイアト・エルタレブ保育園の先生が講師となって研修を行い、地域の子育てのし易い環境づくりに貢献しています。子どもたちが毎日の遊びで使うおもちゃは、先生方がよく手作りで作っています。



保育者の手作り人形

コーナー保育の導入と実践

コーナー保育では、保育者が設けた製作コーナーやごっこコーナー、積木コーナー等の中から、子どもたちが自ら活動を選び遊びを楽しみます。子どもたちは主体的に活動に取り組む中で、遊びを通し様々なことを経験していきます。プロジェクトの他のモデル園でもコーナー保育を導入し、子どもたちが主体的に活動に取り組む姿を大切にしています。



積木コーナーで大きな家を建てよう挑戦中

園長先生（サナアさん）より コーナー保育について

子どもたちは自分で好きな遊びを選び、それぞれに好きな遊びを楽しみます。子どもたちの中で人気のコーナーは、「ごっこコーナー」と「絵のコーナー」です。ごっこコーナーでは、お父さんやお母さん、コックさんや床屋さんなどのいろんな役になりきって遊んでいます。こうした遊びを通じ、子どもたちは社会の中の様々な人の役割を学んでいます。絵のコーナーでは、子どもたちはいろいろな絵を描いたり塗ったりするのを楽しんでいます。その中で、違う形や色が分かるようになり、それらを区別できるようになります。



絵のコーナーで絵を描くの楽しいな～



Dr. マグディー・ナゼーフ氏

①Professor and Head of Food Education Department, National Nutrition Institute
②General Manager of The Scientific Foundation for Food Culture, etc.

保育者向け研修「子どもの栄養」の講義の様子

プロジェクトで実施している保育者研修と講義

プロジェクトで実施中の保育者研修

プロジェクトでは、モデル園の先生方に向けて保育者研修を実施しています。研修内容については、社会連帯省と協議を重ね、初年度については日本の保育士養成校のカリキュラムを参考に研修をデザインしています。具体的には、「保育原理」や「児童家庭福祉論」といった全20の講義科目から研修を構成しており、先生方が体系的に保育・幼児教育を学ぶことができる研修内容となっています。

「子どもの栄養」の講義の大切さ

保育者研修の一つに「子どもの栄養」という講義科目があります。講義を担当してくれているのはマグディーさんです。これまでにプロジェクトのメンバーでエジプトの保育園を訪問させていただきましたが、訪問させてもらったいくつかの園では、子どもたちが持参した菓子パンやお菓子を食事として食べていることがありました。子どもたちが保育園でたくさん遊び、健全に成長していくには、普段から食べる食事はとても大切なものです。「子どもの栄養」の講義を通じ、先生方に改めて食事の大切さに気づいてもらい、園と家庭が連携しながら栄養価の高い食事を子どもたちが食べられるようにしていきたいと考えています。

「子どもの栄養」を受講した先生より

アビエル・ムスタファ先生（ゴルフ保育園、イスマリア）

とても良い研修でした。子どもの栄養に関するたくさんのお話を学ぶことができ、また、エジプト人の多くが栄養のバランスのとれた食事をとっていないと考えさせられました。

ドーア・アハメド先生（エルハマヤール保育園、スエズ）

「子どもの栄養」の講義から、栄養バランスのとれた食事をとることの大切さを

学ぶことができました。マグディー先生が講義の中で見せてくれた食品ピラミッド（下の図）が大変参考になり、具体的にどのような食事を用意するのが良いか分かりました。

マナル・アワード先生（オモエルモエミン保育園、ポートサイド）

講義からは、口にする食べ物の栄養価を考えることの重要性や、栄養バランスのとれた食事を心がけることによりいろいろな病気を予防することができることを学びました。

マグディーさんが作成したエジプトの食品ピラミッド



保育園で絵本を
大切にしていきたい

エルテフーラ保育園（カリ
オベイヤ）の子どもたちに
人気の絵本は、日本でも
お馴染みの
「はらぺこあおむし」でした。

Page 4

モデル園に届けた絵本と絵本棚

モデル園に絵本と絵本棚をお届けしました

絵本をもっと楽しめるように

プロジェクトでは、モデル園の保育の現場で絵本を大切にしていきたいと考えています。言葉や文字を単に教えるだけでなく、絵本を通じて子どもたちの想像力を豊かにしながらや文字に対する興味や関心を育んでいける、そうした環境を保育園の先生方と一緒につくりたいと考えています。子どもたちにとって絵本がもっと身近なものになるよう、プロジェクトでは絵本作家による講演会をモデル園の先生方を対象に実施し、また、アラビア語で書かれている絵本や、絵本の表紙が見えるつくりになっている本棚を各モデル園にお届けしてきました。今後も引き続き、絵本の重要性をモデル園の先生方と共有していき、絵本が子どもたちにとってより身近なものになるようにしていきたいと考えています。

はらぺこあおむしはエジプトでも人気

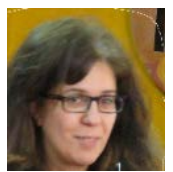
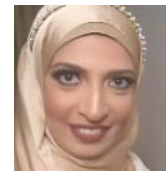
日本の保育・幼児教育でもお馴染みのエリック・カールさんが描かれた「はらぺこあおむし」は、エジプトの子どもたちにも大人気です。カリオベイヤにあるエルテフーラ保育園の先生に、園の子どもたちに人気のある絵本を聞いたところ、すぐに「はらぺこあおむし」と教えてくれました。



アラビア語で書かれた「はらぺこあおむし」の表紙

プロジェクトナショナルスタッフ紹介

ナビル.ナシュワ マーヘル.カロリン



エルアルフィ.サルマ



ガード.カリーム

エマラ.アヤ



絵本作家の先生と写真を一枚

今後のプロジェクトの主な予定

保育者研修：

6月下旬（カイロ）

7月中旬（プロジェクト対象5地域）

食育イベント：

7月上旬（カリオベイヤ）

保育見学会：

10月（プロジェクト対象5地域）

本邦研修（日本国内での研修）：

11月下旬